

町の人口 (12月末)

・総人口	15,963人
男	7,674人
女	8,289人
・世帯数	3,999世帯
・転入34人・転出20人	
・出生21人・死亡14人	

町の花・ツツジ



(12月17日 波佐見中学校マラソン大会から)
～甲長野公民館前～

さあスタートだ 負けないぞ!!

寒風の中を一齐にスタート。
走る波佐見っ子の表情もさまざま。
今年も負けじ魂で元気いっぱい
突っ走ってほしいものです。

目標に向かつて 一歩一歩前進を



波佐見町長 兒玉 薫

謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

皆様の温かいご理解とご支援を賜り早や二年を経過いたしました。

昨年を顧みますと、政府は多額の助成金まで出して失業対策をやるかと思うと、産業界は人手不足に悩み、不況とか好況とか変動の激しい一年でありました。

私も今日まで、将来の波佐見像を想定し、基幹産業であります窯業・農産の一体的繁栄を図るため、町を一つの工場と認識し、その連絡道である道路網の基盤整備を最重要施策として実施しておりますが、今年も引き続き推進いたします。特に六十五年三月までは、高速度も全面開通。即ち波佐見・有田インターより北は、青森の果てから本土は言うに及ばず、四国・鹿児島まで直通し、今後の物流は画期的なものであり、波佐見

の生産活動に予想以上の経済効果がでるものと確信し、そのアクセス道路の早期開通には町も多額の負担をなし、県と一体となって一日も早く完成したいと努力しているところです。特に、関係者の皆様にはいろいろご迷惑をかけておりますがご協力をお願いいたします。

農業振興策でありませんが、政府の農政も先行不透明であります。町といたしましては、水田対策・転作問題、肉牛・ミカン・茶その他についても、その対策もきめ細かな配慮をし、農家の不安を少しでも解消すべく特に考えており、このことは引いては、窯業面にも寄与することの認識を持っております。

次に県窯業試験場の移転についてであります。波佐見三川内両産地間の中心ということで榊木場を県が指定、業界も納得の上決定いたしました。用地の取得、造成工事、取付道は本町で対応することにしておりますので、地権者の方々のご理解、ご協力を頂

き、契約締結の運びとなりましたら早速に着手いたします。造成後は県において近代的で業界に開放された、仕事着でも出入りされる、ニューセラ等の研究設備のある試験場を建設、運営して頂くことになっており、我が町のシンボルの存在になることと思っております。

これと併行して波佐見町の将来を左右するものは、波佐見高校にデザイン科の新設であり、年末に「百年の大計は人づくりにある」との信念に基づき、松尾県議、議長、業界代表の方々も同行して頂き、県教育長に強く要請いたしましたところ、伊藤教育長も本格的調査をなし、必ず実現したいとの確約をして頂いております。

中央小学校の問題でありましたが、東小、南小は立派に改築されており、中央小学校は危険校舎になりつつあり、特に運動場においては、甲辰園を使用しており、先生の管理の目がとどかず、又、室内運動場としての講堂は、木造で柱を漆喰で包んでおり、設計業者の検査の結果、当分の間大丈夫と報告を受けておりますが、何れにしても長く使用するということは問題がありますので、中央小を全面

的に新築することに決意し、現在の場所か幸山陶器裏の小堤周辺にするか、教育委員会において検討中であり、位置決定次第来年度からでも実行に移りたいと考えております。

多額の出費になります。ご了解をお願いしたいと思います。今後波佐見町が文化の町として発展して行くために避けて通れないのが下水道であり、生活環境の美化と快適な住生活確保、大村湾汚濁防止のためにも必要でありますので、その調査費を予算に計上、その条件整備を進めていきたいと思っております。しかし莫大な建設費が必要で至難な事業であります。町民皆様と共に英知を結集し、子孫のためにも実現に向かって努力したいと思っております。

又生活の向上に伴い、ゆとりある暮らしの一環として、西欧のバカンスと同じく長期型のレジャーを楽しむ傾向をたどっており、国もリゾート法を成立させ税の優遇措置等で助成しており、このような背景の中、針尾のハウス・ボス（森の家）計画等民生活による大型観光事業が進められておりますので、波佐見もその余慶と高速度全面開通をてこととして、観光事業（ゴルフ場等）の誘致、情報縁故等を

求め実現したいと考えております。

世界の情勢も基本的に変革しつつあり、平和、和解が進み、必然的に国際化、自由化の波が予想以上にあらゆる産業に押しよせ、主食の米まで開放すべし等、国際摩擦解消を迫られております。

そのため内需拡大政策や週休二日制等の推進が、食器には相乗効果を表し、窯業界も多少活況を呈しておりますが、何れにしても自由競争は激化し、美濃地区（多治見、瀬戸、土岐市）との喰うか喰われるかの競争も覚悟しなければなりません。有田町等近隣窯業界と一体となって、日本市場で勝ち残り、二十一世紀には世界市場、特に中国、韓国等始んどのアジア諸国は、現在我が国には無関税で、自由に輸出しておりますが、自国への輸入は禁止しております。しかし、各国とも解放政策をとり所得水準も向上の趨勢にありますので、波佐見の将来を近隣諸国との貿易の産地として、あるべき姿を想定し、その目標に向かって一歩一歩前進すべしと確信しております。

所信の一端を述べ、皆様の多幸を祈念し年頭のごあいさつといたします。

春

迎

議会の機能向上と 活性化を

町議会議長 坂井 忠寿



謹んで町民の皆さまに、
ごあいさつ申し上げます。

町民の皆さまには、日頃か
ら町政に対する暖かいご理解
と絶大なるご協力を賜り、厚
くお礼申し上げます。

只今議会は、昨年十月の町
議選挙で新たに選任された議
員で構成されましたが、心機
一転議員一人ひとりが「期待

される議員像」に徹し、議会
の機能を高め、さらに活性化
を図り町民のみなさんのご期
待に添うよう決意を新たに
いたしております。

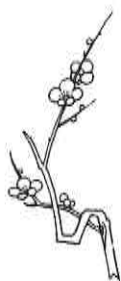
本町をとりまく諸情勢は極
めて厳しく、加えて町内外に
大きな変化が起きようと致し
ております。

それは波佐見有田インター
の開発、針尾のハウスステッ
スの建設であり、牛石の工業
団地の建設などであり、本
町に与える影響は極めて

大きいものが予想されます。
その波及効果をいかに有効
に導入を図り得るかが、今後
の本町行政の重要課題といえ
るでしょう。

議会もこの認識の上に立つ
て執行機関をたすけ、百年の
大計にいささかも悔いを残さ
ないよう努力する決意であり
ますので、今後とも尚一層の
ご指導とお力添えを賜ります
ようお願い申し上げます。

皆さまの益々のご活躍とご
健勝を心からお祈り申し上げ、
新年のごあいさつといたしま
す。



新たな 飛躍と繁栄を

長崎県知事
高田 勇



謹んで新年のごあいさつを申し上げます。
県民の皆様には、ご健勝にて新しい年を
お迎えになられたことと存じます。

私も、心を新たにして21世紀に向け、「長
崎県らしい人づくり・物づくり・事づくり」
の基本理念のもとに、これまで以上に県勢
の振興と県民の皆様の幸せを願って、全力
を注ぐ決意であります。

幸い、県民皆様のご協力、ご支援により、
多年の懸案となっておりました各種プロジ
ェクトも着実に進展。特に最大の課題である
道路整備については、大動脈の九州横断
自動車道（大村・武雄間）も急ピッチで工
事が進められ、さらに、長崎市周辺バイ
パス道路、西九州自動車道（波佐見・武雄間）
も64年度末までに完成、開通する運びとな
っております。

交通網の整備が一段と脚光を浴びている
今日、一方では造船、炭鉱などの厳しさは
続き、さらに農産物輸入自由化でオレンジ・
牛肉に加えて米が話題にされるなど、厳し
い状況下であり、今後とも総力をあげて諸
対策に取り組む覚悟であります。

このすばらしい郷土に住む160万県民皆
様の文化に香る豊かなくらしを築き、県勢
の新たな飛躍と繁栄を期して全身全霊を打
ち込んでまいります。

県政に対し、旧年に倍するご支援、ご指
導をお願い申し上げます。年頭のごあい
さつといたします。



昭和62年度波佐見町一般会計並びに特別会計（国民健康保険，老人保健，簡易水道事業）決算が，12月に開かれた第4回町議会定例会で可決承認されました。

一般会計では歳入総額31億5,606万5千円，歳出総額30億7,828万7千円となり，単年収支では7,777万8千円の黒字決算となっています。

歳入歳出の内訳は別グラフのとおりです。

歳入の特徴

町税4.7%増

まず歳入関係では，前年度と比較すると全体で1億9,500万円，6.6%の増となっています。

このうち町税と地方交付税がそれぞれ4.7%、6.4%の伸びを示し，特に町税は陶磁器関連産業の景気持ち直し傾向による影響もあり，3,965万円の増加となっており，町税の歳入全体に占める割合は28%となっています。また地方交付税は6,091万円の増となり，構成比で見ると32.2%となっています。

国庫支出金は，児童措置費960万円，児童手当費290万円，鴻ノ巣公園建設事業300万円，都市下水路整備事業500万円など，それぞれ減額されましたが，公営住宅建設事業7,178万円，町道改良舗装3,415万円などの増額により，全体で1億340万円，48.4%の伸びを示しています。しかし，県支出金においては災害復旧費，普通林道永尾線開設事業費など全体で9,607万円，25%の減額となっています。

歳出の特徴

建設事業33.2%の伸び

歳出においては，まず人件費を見てみると，議員報酬，特別職給与について平均6.1%引き上げを行い，一般職についても国家公務員の給与が平均1.47%引き上げられたことに伴い，これに準じて給与改定を実施。しかし退職者5人があったため，前年度に比べて1.7%の減額となっています。

扶助費は，私立保育所措置児童の減少に伴う措置費の減少で1,080万円，3.8%減少。積立金は，教育施設整備基金9,977万円，町民総合会館建設基金1,995万円など，特定目的基金の積立増により9,462万円，93.5%増加しています。

投資的経費では，災害復旧事業費が2,940万円，30.6%減少しましたが，公営住宅建設事業，道路関係国庫補助事業，やきもの公園建設事業，庁舎浄化槽改修工事などが増額され，全体で2億2,999万円，33.2%の伸びを示しています。

歳出全体を前年度と比較してみると，2億5,563万円，9.1%の増加となっています。

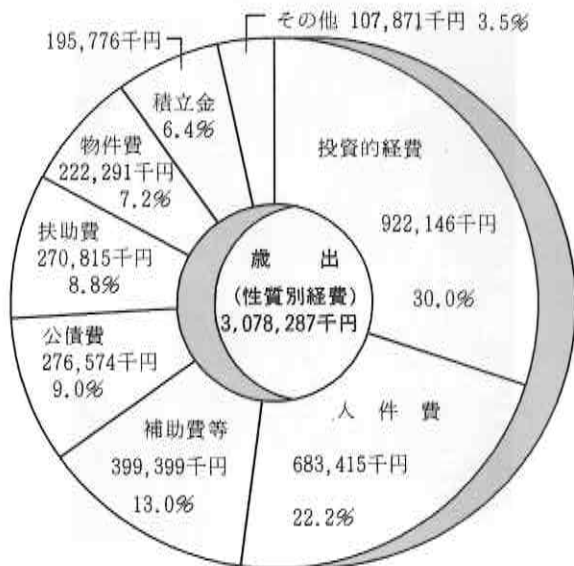
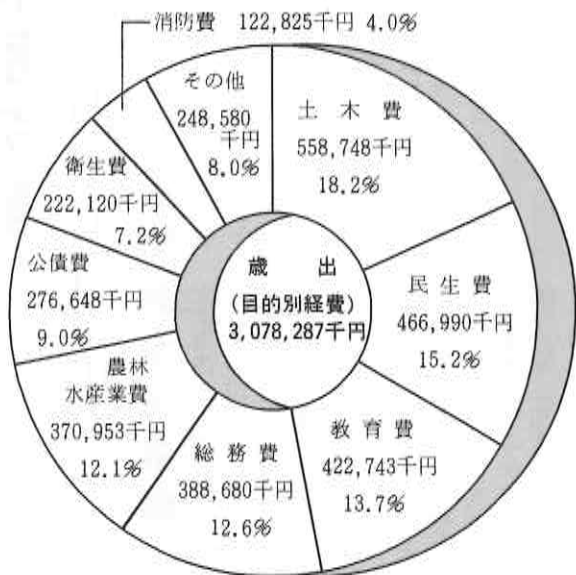
町の決算
お知らせします

<歳入総額3,156,065千円> ()内は対前年増減率

1 地方交付税	1,017,463千円 (6.4%)
2 町 税	882,822千円 (4.7)
3 国庫支出金	317,245千円(48.4)
4 県支出金	287,890千円(△25.0)
5 町 債	← 205,000千円(84.0)
6 繰越金	← 138,318千円(25.4)
7 分担金 及び負担金	← 80,252千円(3.3)
8 諸 収 入	← 76,591千円(△9.3)
9 そ の 他	← 150,484千円(△16.2)

(※その他には，使用料，地方譲与税，財産収入，寄付金，自動車取得税交付金などが含まれます)





昭和62年度国民健康保険 特別会計決算状況

(単位：千円・%)

	項目	決算額	構成比	対前年 比
歳入	国民健康保険料	458,383	46.1	115.3
	国庫支出金	398,418	40.1	104.9
	繰越金	58,465	5.9	294.4
	療養給付費交付金	63,278	6.4	132.9
	その他の収入	15,212	1.5	187.4
	合計	993,756	100.0	116.5
歳出	総務費	27,087	3.0	100.9
	療養諸費	546,382	59.8	114.4
	高額療養費	60,833	6.7	123.5
	その他の保険給付費	8,960	1.0	127.1
	老人保健拠出金	234,294	25.6	107.4
	その他の支出	36,222	3.9	229.7
	合計	913,778	100.0	115.0
	収支差引額	79,978		136.8

特別会計

医療費

15割の伸び

▼国民健康保険事業

昭和六十二年年度国民健康保険事業特別会計の決算状況は、歳入で九億九千四百万円、歳出で九億七千四百万円となり、差引八千万円の決算剰余金を生じています。

歳入歳出の主な項目では、別表に記載しておりますとおり国民健康保険料で約十五割増を始め全ての項目で、前年

度対比が伸びを示しています。特に繰越金が前年比百九十四割と約三倍に増加しているのは、単に前年度決算時の剰余金との比較にすぎないものがあります。またその他の収入が八十七割と約二倍に増加しているのは、高額療養費に対する共同事業交付金が約七倍程度増加して交付されたことによるものです。

一方歳出の方では、その他の支出を除き、おおむね十割内外から二十割内外の幅で前年実績を上回っています。その他の支出が対前年比約二倍強と増加したことは、準備基金積立金が二千二百七十万円と前年に比べ九倍程度の増加がなされたことによるものです。

特別会計

収入四千七百万円

▼簡易水道事業

昭和六十二年年度の簡易水道事業の決算をお知らせします。簡易水道事業は、六地区（皿山・中尾・野々川・鬼木井石の一部・村木の一部）で運営しており、給水人口二、四四三人、給水戸数六二七戸、年間有収水量十二万一千トンとなっています。決算総額は、収入額四千七百二十五万五千円、支出額四千七百二十五万五千円、収入内訳は、水道料金二千七十八万八千円、中尾簡易水道改良事業の借入金二千二百万円、一般会計繰入金二百万円など。

支出内訳は、施設整備費二千八百五十四万円、農林資金元利補給金五百五十四万五千円、その他管理費九百三十三万四千円などが主なものとなっています。

なお、先にお知らせしましたが、昭和六十三年四月一日から皿山地区を除く五地区簡易水道事業は、上水道事業に統合して管理運営を行っています。これからも水道事業に対するご理解とご協力をお願いします。



老人医療 5割の伸び

▶老人保健特別会計

老人保健会計は、歳入で約7億3,300万円、歳出で約7億3,200万円となっており、差引100万円の不用額を生じております。

老人分の医療費は、約7億2,800万円で昭和61年度医療費6億9,500万円に対し、約5割の伸びになっています。

昭和62年度老人保健特別会計決算状況

(単位：千円%)

	項目	決算額	構成比	対前年度比
歳入	支払基金交付金	508,775	69.4	103.5
	国庫支出金	145,447	19.9	103.7
	県支出金	35,787	4.9	102.7
	繰入金	35,162	4.8	99.4
歳出	その他の収入	7,661	1.0	617.8
	合計	732,832	100.0	104.4
	医療諸費	728,018	99.5	104.5
歳出	諸支出金	3,626	0.5	198.7
	合計	731,644	100.0	104.8
収支差引額		1,188		33.0

昭和62年度簡易水道事業会計

区分	収入額	支出額	差引額
	千円	千円	千円
簡易水道事業会計	47,025	47,025	0
計	47,025	47,025	0

業務量

区分	皿山地区	五地区	計
給水人口	596人	1,847人	2,443人
給水戸数	177戸	450戸	627戸
年間配水量	55,643m ³	88,144m ³	143,787m ³
年間有収水量	36,004m ³	85,494m ³	121,498m ³
有収率	64.7%	97.0%	84.5%

町の事業

十二月分の町の工事発注状況をお知らせします。
(建設関係)

▼町道牧の内線改良工事 四七〇万円

▼山角地区防火水槽新設工事 三二〇万円

▼大日地区防火水槽新設工事 三三〇万円

▼町道柳田線舗装工事 一、〇四〇万円

百武建設

西部道路

収入役に

田添 強 さん



十月三十一日付で退任された山下鐵夫前収入役の後任として、前総務課長の田添強さん(五八)が一月四日付で就任しました。

町では十二月二十三日の町議会定例会で「収入役の選任について」提案、満場一致で可決承認されたものです。新収入役の田添さんは、昭和二十四年上波佐見町職員と

して奉職。引き続き三十一年六月波佐見町誕生以来今日まで、商工企画・住民・農林・総務の各課長を歴任するなど、行政事務の大ベテランです。今後町政発展のため一層ご尽力いただくこととなります。町ではこれに伴い、町職員人事異動を一月四日付で次のとおり発令しました。

▼総務課長(教育委員会・社会教育課長兼町公民館長) 林田朝夫 ▼教育委員会・社会教育課長兼町公民館長(商工企画課長) 村川昭次 ▼商工企画課長(商工企画課参事) 岳本英毅

あいさつ運動で さわやか一日



成人に あたって

人間関係を大切に

自分の役割を自覚

中村 美春

(皿山郷)



昭和四十三年生まれの私もいよいよ「成人」を迎えることになりました。漸く人間としての基礎を築くことが出来ましたが、これも偏に町民皆様のお陰だと心から感謝しております。さて、科学の発達に伴い、日々の生活は次第に便利になってきています。

このような時に「成人」という節目に立った私達は、やがてやって来る二十一世紀に向けて多様な面で周囲から期待されてい



ます。しかし、どんなに文明が進んでも、人間としての優しさは喪失してはいけないと思います。私はこれから多くの方々と接する機会があると思います。が、常に人間関係を大切にできるように努力したいと思えます。「成人」となるにあたって、この事を一番の目標として頑張っていきたいと思っています。

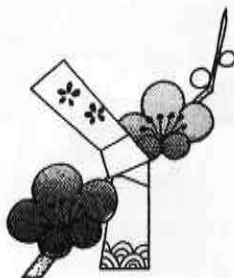
沢田 健一

(田ノ頭郷)



長い人生の通過点にすぎないと思っていた成人式も、いざ自分が迎えて考えてみると、意味深いものがある。二十歳になると、いくつもの権利と自由を得るが、それと同時に大きな義務を負わなければならなくなる。今までの学生生活では自己中心的に自由ばかりを求めていた様な気がする。何事にも責任と義務心を持った上で自由を追求し、協調する気持ちと簡単に妥協しない気持ちを持ちたい

と思う。社会人になって、つきあひも多くなって色々な人と巡り会う中、多くの人の話を聞くという事を大切に考え、これからは仕事の面でも若い力から地域社会に生かし、自分の役割を自覚し頑張っていきたいと思う。





◀218人が 新たな決意

町成人式が1月3日勤労者体育センターで開かれました。

今年新しく大人の仲間入りをしたのは男子106人、女子112人の合わせて218人。

兒玉町長らの祝辞のあと、成人者代表が「成年の書」を朗読。「社会人として自覚と責任を持って、地域社会のため努力します」と決意を新たにしていました。

▶二ツ岳へ元旦登山

「二ツ岳に展望台を作る会」では、今年も二ツ岳へ元旦登山を行いました。

今回は志折・平野・協和・乙長野・甲長野などから約百二十人が参加。頂上では、まず三年ほど前に丸太を組み合わせて作ったミニ展望台で国旗掲揚や記念式を行い、そのあと同会が作った記念タオルを参加者全員に配布。新春の二ツ岳にさわやかな笑顔が広がりました。

同会では、二ツ岳元旦登山を今後も続けていこうと意欲満々です。



◀初げいこのあとの ぜんざい最高

南少年剣道クラブは1月4日に「初げいこ」を行いました。

早朝、波佐美神社へ参拝したあと南小体育館に集合。ちびっ子剣士たちの元気いっばいの掛け声が響きわたる中、外ではお母さんたちがぜんざいの準備。2時間ほどでけいこを終えた子どもたちは早速、炊きたてのぜんざいに舌つづみを打ち、初げいこの疲れをいやしていました。



◀防人の心意気示す

——町消防出初式——

新春恒例の町消防出初式が1月5日、東小学校グラウンドで開かれ、田崎登団長420人は「町民の生命・財産を守る防人(さきもり)」として決意を新たにしました。

午前8時30分グラウンドに集合した団員たちは、ただちに分団別による礼式訓練を実施。さらにラッパ隊の合図で式にのぞみ、兒玉町長、坂井町議会議長ら7人が、服装・機械器具を点検。そのあと田崎団長が「今年も地域の防人として、16,000町民の負託にこたえていこう」と訓示しました。

また、消防功労者として今年は今井昭夫副団長他152人が表彰されました。

式のあと東小から館集会所まで市中行進。引き続いて湯無田橋上で放水演習が行われ、サイレンの音が響きわたる中、各分団とも防人の心意気を示すべく一斉放水。今年の出初式を終了しました。

◀無病息災祈って “鬼火たき”

ポーン・ポーンと生竹のはじける音——1月7日の早朝、折敷瀬郷西地区と井石郷下井石地区では“鬼火たき”を行いました。

燃え上がる炎——今年の無病息災と豊作を祈りました。



▲折敷瀬郷西地区



▶井石郷下井石地区



今年もホットな
話題 どしどし
お寄せ下さい!!

役場企画係まで

お知らせ

スポーツ指導者講習会

町内のスポーツ活動は年々盛んになり、スポーツ人口も以前にくらべ増大しています。スポーツは誰でもが気軽に参加し、精一杯プレーし、汗をかき、健康増進をはかるものですが、スポーツ障害事故は後を絶ちません。

スポーツ活動を実践されている方を対象としたスポーツ指導者講習会を開催しますので、スポーツ障害事故等の予防学を医科学的に習得し事故防止をはかりスポーツに親しんでいただくために、多数の参加をお願いします。

主催 波佐見町公民館
期日 2月9日(木) 午後7時～9時30分
会場 波佐見町公民館
講師 日本体育協会公認スポーツドクター 八並整形外科医院長 八並 信 先生
内容 映像と講演 「スポーツ障害と医科学」
申し込み 2月6日(月)町公民館まで
参加料 無料

鴻ノ巣クV2飾る!

波佐見学童野球リーグ戦

六十三年度波佐見学童野球リーグ戦がこのほど閉幕。鴻ノ巣クラブ(城島照明監督十六人)が10戦全勝で見事二年連続優勝を飾りました。

今年度三回目を迎えた同リーグ戦。町内各地域などから六チーム(百三十九人)が加盟しており、昨年三月末から十月末まで白熱した試合を展開。その結果、全員野球をモットーとする鴻ノ巣が白星を着実に重ね、見事全勝で二連覇を果たしたものです。

V2を飾った鴻ノ巣は、昨年七月の県少年野球大会で準優勝し、八月の九州大会に出

場するなど、着々と実績を上げていくところ。今季の主な結果は次のとおりです。

- 優勝 鴻ノ巣(10勝0敗)、準優勝 中尾(16勝3敗1分)、三位 三井(6勝4敗)、四位 宿、五位 湯無田、六位 永尾

〈個人成績〉

- 最高殊勲選手賞 一瀬真也(鴻)、優秀選手賞 岳本福太郎(鴻)、同 山口龍彦(中)、同 山口正太(バ)、同 福田貴仁(宿)、川野将司(湯)、北村幸一郎(永)



V2を飾った鴻ノ巣クラブ

農協Bが 団体V

第四十回町民卓球大会

卓球大会

第四十回町民卓球大会が十一月十一日、勤労者体育センターで開かれ、町内の各地域・職場などから参加した十チーム・八十人の選手たちは終始白熱した試合を展開。その結果、団体戦で東彼農協B、個人戦男子Aで増田穂積さん(折敷瀬)、同男子Bで中村初男さん(東彼農協)、同女子で石橋由美子さん(中尾)がそれぞれ優勝を飾りました。

- 主な結果は次のとおり
- 〈団体戦〉優勝 東彼農協B、準優勝 東彼農協A、三位 折敷瀬、三位 波佐見中A
 - 〈個人戦〉男子、優勝 増田穂積、準優勝 山田幸男、三位 森永祐司、三位 樋口正雄
 - 男子B、優勝 中村初男、準優勝 辻田勇次、三位 石橋安幸、三位 石橋登
 - 女子、優勝 石橋由美子、準優勝 増田三和子、三位 富木みのり、三位 嶋田千賀子



ミス「旅」博

ほしゅう

長崎「旅」博覧会協会では平成2年8月3日から開催する長崎「旅」博覧会を彩る、明るくて健康的な独身女性を募集します。

- ▶募集人員 5名
- ▶応募資格 満18歳から25歳までの未婚女性(平成元年4月1日現在)、県内在住または県内に3カ月以上勤務している方。
- ▶募集期間 1月31日まで
- ▶応募方法 カラー写真(手札型)2枚(上半身及び全身)、別紙に本人の住所、氏名、生年月日、年齢、職業、身長、体重、スリーサイズ、最終学歴、電話番号、趣味特技を記入
- ▶送り先 〒850 長崎市桜町4番1号長崎商工会館内長崎「旅」博覧会協会・ミス「旅」博募集係
- ▶賞品 賞金10万円、副賞=サイパン島旅行 詳しくは同協会募集係(☎0958-28-2386番)まで

シリーズ

私と生涯学習

その4

数学の楽しさ

生きていく証

あかし

本田輝政

(乙長野郷)

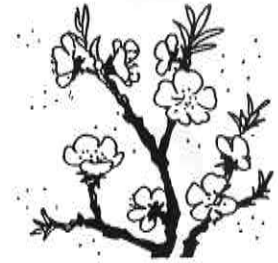


四、五年前懇望されて、長い間やめていた、大学受験準備の生徒の数学の指導をすることになった。力のはいつた指導をするためには自分自身に徹底した理解が要求される。

そこで昔の学生時代に立戻って勉強を始めた微分積分、基礎解析、代数幾何に確率統計まである。どれも手硬い。

この道の先輩達が創意と工夫で解決した跡を、玩味しながら、跡を登って行く気持ちで、毎日配達される、新聞の中の折込広告の裏に、ボールペンで図形を書き計算する。時には一つの問題を二日も三日も考えることがある。が、これを解決した時の気持ちは、言葉では表現のできない、言葉者のみが味う「悦楽」と言った心境である。時には数学の持つ超経験の世界に神秘を感じることもさきである。不可思議なもので、今では学習すること自体が楽しみになり、学習しないと生活に空虚を感じるようになった。

現在は高校生の数学の指導をしているので学習の必要もあるのだが、例え、その必要がなくなっても、この学習は、



あんずの花

この世に生きていく証(あかし)として、死ぬ時がやめる時の気持ちで続けたいと思っている。

明治三十一年、夏目漱石の小説「坊ちゃん」で知られる松山市生まれ
九十一歳。旧制京都帝国大学教員養成所数学科卒業、旧下波佐見中学校初代校長



年賀状は筆ペンやワープロですました人も、書き初めはやっぱり毛筆でという人が多いようです。書き初めを書くのは主に学童ですが、最近では趣味としての書道が盛んになり、書き初めをする人が増えています。

書き初めは、吉書、試筆、筆始めなどともいって、正月の二日に、新しい筆や墨を使って、めでたい字句を書くのが一般的です。最近では、自分の人生観やモットーを書くことも多くなりました。

書き初めは、鎌倉時代から年中儀礼のひとつとして

書き初め

行われていたようですが、寺小屋教育の普及とともに盛んになりました。また、江戸の文人たちの間でも行われていました。

書き初めの作品は、左義長(主に一月十四日または十五日)の時に門松とともに焼き、その燃えながら高く上がる書が上手になる

とされていきますから、新年の占いの一種でもあったのです。書き初めのほかに、昔は読み初めというものもありましたし、芸事では、弾き初め、謡い初めが行われています。江戸時代には買初めに塩、はまぐり、なまこを買うという風習もありました。



ところで、一月二十六日は「文化財防火デー」です。この日は、昭和二十四年に法隆寺金堂の壁画が焼損した日にあたります。この日を中心に文化財の消防・防災設備などの点検整備などが行われます。わたしたちも文化財を拝観するときなどは、防火に注意したいものです。

新しい家族 No.18 夫婦で子育て

東京都立大学教授・心理学

詫摩武俊

電車の中や駅のホームでは、いろいろな人を見ることが出来ます。自分自身のことや子供のしつけを考えるのにもいい機会です。あまりジロジロと一人の人を見るのは礼を失うことですが、実に多様な人がいるものです。

電車の中の人間像

荷物をひぎの上、あるいは網棚に置かないで、自分のわきに置いて平然としている人もいます。このごろの電車の座席には、中央のシートの色が変えてあって、そこ

に一人が座れば右と左に三人ずつ、計七人が座れるものもあるのですが、この配慮もあり役に立っていません。次の駅で降りるのでもないのに、入口付近に立っていて乗り降りの客のじやまになっているのに気がつかない人もいます。気配りの乏しい、感

受性のにぶい人です。混んでいるとき、二人分のつり革を独占している人もいます。電車の最後部から乗って、混んでいる車内をかきわけて、前のほうに移動する人もいます。自分の下車する駅のホームの都合なのでしょうが、かきわけられる人はあまりいい気持ち

いたことの一つは、東京では駅で大人が駆けている、ということだったそうです。遅刻しそうでからというのが理由でしょうが、ぶつけられたり、突き飛ばされる人もたくさんいます。駅の階段などの狭いところは、前の人と同じ歩調で歩くべきですが、三人ぐらいが並んでおしやべりしながらゆっくりと歩き、迷惑をかけている人もいます。ホームに何方面と明記してあるのに、何々行きはどっちですかと聞く人もいます。依存性が強く、だれかと一緒でないとい行動できない人なのかもしれませぬ。障害のためならば別ですが、自

分です。あまりジロジロと一人の人を見るのは礼を失うことですが、実に多様な人がいるものです。座席の右側にも左側にもすき間があって、自分がどちらかに動けば、前に立っている人が座れるのに、そのことに気がつかない人が

ちのするものではありません。スポーツ系の新聞の中には、本来の記事のほかに小説が連載されています。そのかなり露骨な性描写のさし絵が、立っている女子中学生の目の前にきていることに気がつかない人もいます。地方から上京した青年が驚

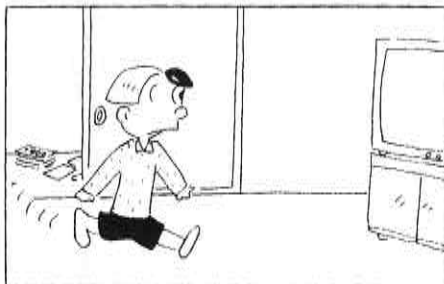
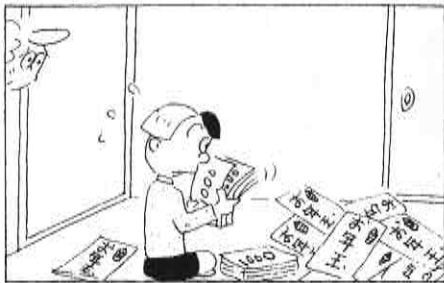
いたことの一つは、東京では駅で大人が駆けている、ということだったそうです。遅刻しそうでからというのが理由でしょうが、ぶつけられたり、突き飛ばされる人もたくさんいます。駅の階段などの狭いところは、前の人と同じ歩調で歩くべきですが、三人ぐらいが並んでおしやべりしながらゆっくりと歩き、迷惑をかけている人もいます。ホームに何方面と明記してあるのに、何々行きはどっちですかと聞く人もいます。依存性が強く、だれかと一緒でないとい行動できない人なのかもしれませぬ。障害のためならば別ですが、自

分です。あまりジロジロと一人の人を見るのは礼を失うことですが、実に多様な人がいるものです。座席の右側にも左側にもすき間があって、自分がどちらかに動けば、前に立っている人が座れるのに、そのことに気がつかない人が

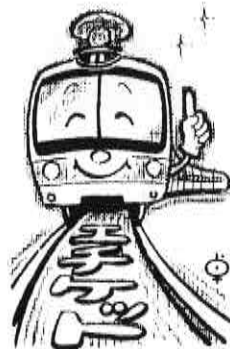
これは他人に迷惑をかけたという不快感を与えたりしないということですが、親が子供にモデルを示して教えていくもののひとつです。車内やホームでの礼儀、これは他人に迷惑をかけたという不快感を与えたりしないということですが、親が子供にモデルを示して教えていくもののひとつです。

さわやか君

西村 宗



成人病予防週間
(2月1日~7日)





「子供達の健康管理」



東彼医師会 別府 治彦

(波佐見町・稗木場郷)

保育所、幼稚園、小学校、中学校と大勢の子供達の健康管理に関して、考えてみたい。まず保育所であるが、これは児童福祉法により健康管理の義務を規定してある。幼稚園、小・中学校は、学校保健法により規定された義務である。

これらの業務に含まれている。一歳半検診、三歳児検診と数多い検診事業が準備され実施されて子供達の健康に対して関心を示している。これらの検診事業の場において、甚だ残念なことは、これらの検診結果が単年度事業として集積されるのみで、継続的的事业として集積記録されていないことであろう。この面の研究がもっと望まれるところであろう。

東彼杵郡医師会にても、もう既に略軌道にのって進行している。何時か機会を見てこれらの集積された資料の発表も実施する予定である。特に学校保健の場での活動が、これまで如何になされてきたか、今度の方策、問題点は何かなどについて議論を進め、意見の交換を持ちたい。子供を育てている親にとつて、子供の健康に無関心な人はいるまい。

次の時代を託する子供の健康は親達の責任であろう。

保育所、幼稚園に関しては、嘱託医により検診事業が実施され、小・中学校に関しては、学校医がこれを実施する。本来なら検診事業の主体は市町村である。更に、公衆衛生事業としての予防注射関係もこ

乳児検診より出発して、少なくとも中学校までの一連の記録の集積が把握出来ないものか、研究の欲しい局面である。特殊な部門の検診が現在進行中である。心臓検診と腎臓検診である。

私たちの願いは、何といつても健康ですわ。でも、ちよつとした油断でいるんな病氣やけがに見舞われることがあります。こんな時、お世話になるのが、お医者さん。

このコーナーでは、東彼医師会の皆さんから、病氣やけがに関する心かげや応急措置などについて、ご意見をお寄せいたたき、みなさんと一緒に健康について考えてみたいと思います。



「健康クイズ」

に挑戦

次のクイズに○か×で答えてください。何問正解できるかご家族で挑戦してみましょう。

- ① どことも悪いと感じなければ健診を受ける必要はない。
- ② 健診は日常生活を反省するための機会でもある。
- ③ 要精検といわれたら必ず治療が必要である。
- ④ 日本での「がん」死亡率は、男女とも一位：胃がん、二位：肺がんである。
- ⑤ がんの発生に一番関係が深いのは、遺伝的な体質である。
- ⑥ 高血圧が続くと、脳卒中や心臓、腎臓などに障害をおこしやすくなる。
- ⑦ 高血圧とわかったら、クスリで血圧を下げておくのが安全である。
- ⑧ 心電図検査に異常が認められるのは、心臓病の証拠である。
- ⑨ ストレスがひきおこす心臓発作の予防には、タバコが役に立つ。
- ⑩ 脳卒中の中で一番多いのは、脳出血(脳いっ血)である。
- ⑪ 血圧が高くなくても脳卒中をおこすことがある。
- ⑫ 糖尿病を放っておくと心臓病、脳卒中、腎臓病などになりやすい。
- ⑬ 糖尿病になるとつねに尿に糖がでるようになる。
- ⑭ 栄養のあるものを食べながら飲めば、お酒で肝臓を悪くすることはない。
- ⑮ 太りすぎると肝臓の中にまでアブラのたまるところがある。

①	×	②	○
③	×	④	○
⑤	×	⑥	×
⑦	×	⑧	×
⑨	×	⑩	×
⑪	○	⑫	×
⑬	×	⑭	×
⑮	○		

こんには保健婦です

町県民税の申告受付

二月一日から各地区で

税務課では、次の日程で町内各地区を巡回し、平成元年度町県民税の申告を受け付けます。

「税の申告」は、二月一日から三月十五日までです。所得税の確定申告は二月十六日からです。

詳しくは、各家庭に配布しているチラシをご覧ください。

「申告をしななければならぬ人」

◎昭和六十三年中に所得があった人は必ず申告をしてください。なお

(イ)所得税の確定申告をする人
(ロ)給与所得だけの人で支払者から給与支払報告書が役場

に提出されている人

は、この申告は必要ありません。ただし、給与所得だけの人も給与を二カ所以上からもらっている人や給与のほかは年金・恩給をもらっている人は申告してください。

◎一世帯に所得がある人が何人もいる場合は、各人毎に申告してください。

やむをえず、本人に代わって家族の人が申告される場合は、所得の算出ができる資料（源泉徴収票・給料明細表・収支内訳書・保険料等の証明書など）及び印かんをお持ちください。

給与支払報告書の提出

一月三十一日まで

個人事業主や会社などで、昭和六十三年中に従業員に給料、賃金等を支払っている場合は、金額の多少にかかわらず給与支払報告書を提出しなければなりません。これには、アルバイトやパートなどの場合も含まれます。

平成元年度町県民税申告受付日程

地区	期日	時間	場所
三股郷	2. 1(水)	9:00~11:00	三股郷公民館
永尾郷	2. 1(水)	13:30~16:00	永尾改善センター
小樽郷	2. 2(木)	9:00~11:00	小樽改善センター
湯無田郷	2. 2(木)	13:30~16:00	内海産業会館
鬼木郷	2. 3(金)	9:00~11:00	鬼木改善センター
中尾郷	2. 3(金)	13:30~16:00	中尾福祉会館
折敷瀬郷	2. 4(土)	9:00~12:00	折敷瀬集落センター
野々川郷	2. 6(月)	9:00~11:00	野々川郷公民館
井石郷	2. 6(月)	13:30~16:00	井石郷公民館
田ノ頭郷	2. 7(火)	9:00~11:00	農業研修施設
金屋郷	2. 7(火)	13:30~16:00	金屋郷公民館
川内郷	2. 8(水)	9:00~11:00	老人会館
岳辺田郷	2. 8(水)	13:30~16:00	農業研修施設
皿山郷	2. 9(木)	9:00~11:00	皿山郷公民館
碑木場郷	2. 9(木)	13:30~16:00	碑木場郷公民館
甲長野郷	2. 10(金)	9:00~10:30	農村環境改善センター
協和郷	2. 10(金)	10:30~12:00	
乙長野郷	2. 10(金)	13:00~16:00	
平野郷	2. 13(月)	9:00~10:30	平野郷公民館
志折郷	2. 13(月)	13:30~16:00	志折郷公民館
村木郷	2. 14(火)	9:00~11:00	村木郷公民館
宿郷	2. 15(水)	9:00~12:00	波佐見町役場

還付申告は正しく早目に

▼一月から受付けます

給与所得者等で次のような人は確定申告をすると所得税が戻るときがあります。

- ①住宅をローンで取得した人
- ②多額の医療費を支払った人
- ③災害や盗難にあった人
- ④中途退職した人

（各々要件があるので注意してください。）

所得税の還付を受けるための申告は、一月から税務署で受け付けています。

申告書は記載例などを参考に自分で書いてみましょう。還付金の支払いは、申告書を提出してから一カ月程かかります。例年、三月になると税務署が大変混雑しますので、できるだけ二月中旬までに申告をお願いします。

また、還付金の受取りは安全で確実な口座振込をご利用ください。

くわしいことは税務署（☎二二―二一六一）まで気軽におたずねください。

償却資産申告は

一月末まで

個人や会社を問わず、工場や商店などの事業所でその事業のために使われる機械・器具や備品類などを所有している個人や法人は、毎年一月三

十一日までに申告をしなければならぬことになっていきます。

用紙がない場合は役場税務課にあります。また、税務署へ提出する法定調査書の提出期限も一月三十一日となっています。

これまでの対象者には必ず申告書類を送付していますので、一月三十一日までに必ず提出してください。なお、取得価格が十万円以上のもの、又はそれ以下のものでも耐用年数が一年以上のもものは申告が必要です。（免税点は百万円以下）

これまで申告もれだったものあるいは新たに事業を始め対象となる人は早めに申告してください。

おたずねは、役場固定資産税係へ。

ひろば

の方は役場
お知らせください。

来月の納金

- 国民年金保険料
- 国民健康保険料
- 水道使用料
- 固定資産税

寄付お礼

児童文化基金に多
額の寄付をいただき
ました。心から厚く
お礼申し上げます。
○町育友会連合会様
並びに母親部会様
目標額 2,000万円
達成額 955万3千円

- 御尊父故富永米作様 御主人故中尾丈作様 中尾郷 中尾 和丈様
村木郷 松尾 漣様
御尊父故松尾時男様 御主人故松尾時男様 御主人故松尾時男様 御主人故松尾時男様
金屋郷 山本 嘉美様
御母堂故山本ミツ様 折敷瀬郷 井関 稔様
御母堂故出口 エン様 折敷瀬郷 井関 稔様
岳辺田郷 田口 ツギ様 御主人故井関善三様 御主人故大賀英男様 御主人故大賀英男様
御主人故田口岩夫様 井石郷 大賀 文子様
井石郷 長与 芳美様 御主人故大賀英男様 御主人故大賀英男様
御尊父故長与鹿太郎様 小樽郷 北村 正起様
井石郷 川添 マサ様 御尊父故北村啓一様 御主人故一瀬勝俊様 御主人故一瀬勝俊様
御主人故川添初美様 富永 優様 佐世保市 一瀬ツルエ様 折敷瀬郷 中田 正義様
○お見舞返しにかえて

善意の窓

●はたちの 献血キャンペーン●

医療を支える あなたの善意



○金一封
東幼稚園愛育会御一同様
(バザー収益金を)
東幼稚園職員御一同様
松葉保育園職員御一同様
以上の方々から本町社会福祉事業資金に寄付していただきました。
それぞれの寄付に対し厚くお礼申し上げます。
波佐見町社会福祉協議会

お誕生おめでとう

- | 子の名 | 父の名 | 住所 |
|-------|-----|------|
| 宮口 雄太 | 政道 | 井石郷 |
| 太田 結実 | 豊徳 | 金屋郷 |
| 中嶋洋一郎 | 博幸 | 折敷瀬郷 |
| 野下 祐樹 | 直樹 | 折敷瀬郷 |
| 渡邊 秀仁 | 和己 | 折敷瀬郷 |
| 服部 純次 | 吉弘 | 折敷瀬郷 |
| 廣瀬 匠規 | 慎一 | 宿郷 |
| 水谷あゆみ | 浩幸 | 宿郷 |
| 永田 和俊 | 義和 | 村木郷 |
| 田嶋佳奈子 | 久喜 | 村木郷 |
| 松川 祐樹 | 繁則 | 川内郷 |
| 福田 遼太 | 康文 | 甲長野郷 |
| 川内 有子 | 裕之 | 乙長野郷 |
| 辻 美都 | 義弘 | 志折郷 |
| 小柳 裕範 | 明人 | 井石郷 |
| 中嶋 智美 | 照彦 | 中尾郷 |
| 高山 恵美 | 次郎 | 三股郷 |
| 島尾 由香 | 久幸 | 永尾郷 |
| 浦川 拓郎 | 光幸 | 湯無田郷 |
| 山口 結子 | 幸則 | 折敷瀬郷 |

ご結婚おめでとう

- | | |
|-------|------|
| 古瀬 武夫 | 中尾郷 |
| 江原 順子 | 佐世保市 |
| 松本 正人 | 有田町 |
| 松尾みどり | 永尾郷 |
| 田中 一也 | 長崎市 |
| 石川 初子 | 永尾郷 |
| 一瀬 竹博 | 永尾郷 |
| 深堀 澄恵 | 鹿島市 |
| 池田 正勝 | 川棚町 |
| 谷口 菊美 | 永尾郷 |
| 秋月 清利 | 永尾郷 |
| 平野 順子 | 東彼杵町 |
| 野田 俊範 | 武雄市 |
| 松下 好子 | 小樽郷 |
| 森田 和則 | 湯無田郷 |
| 野口ゆかり | 野々川郷 |
| 白木 明美 | 湯無田郷 |
| 中城 正隆 | 福島県 |
| 谷口 正浩 | 井石郷 |
| 福本 悦子 | 川棚町 |
| 松田 浩一 | 金屋郷 |
| 岩永 京子 | 折敷瀬郷 |
| 門濱 信夫 | 福岡県 |
| 濱田富士子 | 宿郷 |
| 徳永 浩二 | 熊本市 |
| 有福 香 | 宿郷 |
| 三岳 清吾 | 川棚町 |
| 金山高美子 | 川内郷 |
| 渡瀬祐之介 | 佐世保市 |
| 前川 陽子 | 小樽郷 |

田中 英子 高博 志折郷

おくやみ申し上げます

- | | | |
|-------|------|-----|
| 中川 正 | 中尾郷 | 75歳 |
| 樋口正太郎 | 井石郷 | 80歳 |
| 大賀 英男 | 井石郷 | 66歳 |
| 松添 光子 | 鬼木郷 | 82歳 |
| 大田 ハル | 折敷瀬郷 | 78歳 |
| 植田 ウヤ | 折敷瀬郷 | 92歳 |
| 田中 チク | 折敷瀬郷 | 86歳 |
| 清水 ヤエ | 折敷瀬郷 | 89歳 |
| 中尾 丈作 | 村木郷 | 83歳 |
| 井石 育治 | 稗木場郷 | 72歳 |
| 太田サヨ子 | 川内郷 | 62歳 |
| 平野 サモ | 平野郷 | 80歳 |
| 田中 光夫 | 稗木場郷 | 74歳 |
| 松尾 與七 | 野々川郷 | 77歳 |

ごちらひ 編集室

新年を迎え、町民の皆様方には、今年にかけるさまざまな想いを抱きスタートされたことと思います。
「昭和」から「平成」へ新しい元号のもとスタートした「広報はさみ」。今年も、皆様に愛され親しまれる広報紙づくりを目指し頑張ります。情報、ご意見、ご要望など、どしどしお寄せください。